



中央常任理事会であいさつする吉田万三会長

国賠署名・会員拡大の自主目標達成・特別期間を成功させよう！ (4月1日～6月30日)



No. 586

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

吉田会長は冒頭、国内外の情勢の特徴に触れ、①ウクライナ戦争の

吉田万三会長のあいさつ、田中幹夫事務局長の報告・提案、榎本よう子事務局次長の財政報告を受けて、20人が発言、最後に田中事務局長がまとめをしました。

意思を統一しました。

「国賠署名・会員拡大の自主目標達成・特別期間(4月1日～6月30日)を成功させよう」とのアピールを採択、全力を挙げ

請願要請行動(5月16日)を控え、署名の自主目標の達成の遅れを取り戻し、「国賠署名・会員拡大の自主目標達成・特別期間(4月1日～6月30日)を成功させよう」とのアピールを採択、全力を挙げ



国賠同盟の3月中央常任理事会が3月24日、東京都内で開かれました。国会

3月中央常任理事会開く

主な記事

- 中央常任理事会開く……………1
- アピール「特別期間」を成功させましょう……………2
- 顕彰碑／田中正造120周年記念碑……………5
- 抵抗の群像／西村ヒロ……………6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳……………7

に見える「民主主義国家対専制国家」なるアメリカの新しい枠組み作り戦略のねらい、②このシナリオに同調する岸田内閣が推し進める大軍拡、大増税路線の危険性を指摘。「戦争できる国」から「戦争する国」に足を踏み入れた3条件(法的整備、武器の爆買いなど大軍拡、言論統制・弾圧による世論誘導)の現状を示し、「岸田自公政権は戦前の治安維持法下の危険な方向をめざしている。今こそ、同盟の存在意義は大きく、反戦平和の国民運動の先頭に立とう」と表明。昨年4月、靖国神社例大祭に参拝しサカキを捧げた高市早苗氏(現経済安全保障担当大臣)が、A級戦犯をも合祀している戦死者をと (2ページにつづく)

国会請願5月16日に決定

アピール

会員のみなさんへ

「国賠署名・会員拡大の自主目標達成・特別期間（4月1日～6月30日）」を成功させましょう！

2023年3月24日 中央常任理事会

会員のみなさん

日頃のご奮闘に敬意を表します。

本日開かれた中央常任理事会は、第40回大会決定実現のために国賠署名と会員拡大の自主目標達成めざし、「特別期間」を設定しました。

岸田政権の「戦争する国づくり」への暴走をストップし「再び戦争と暗黒政治を許さない」同盟の使命はいよいよ明確になっています。映画「伊藤千代子の生涯」第3次上映運動と結んで、同盟は多くの国民や団体と力を合わせ奮闘することが強く求められております。

会員のみなさん

1、5月16日（火）、第50回目の国会請願行動日です。3月1日現在の到達点は、個人、団体合わせて55,780筆、15.9%です。国会請願の成功めざし、請願署名の各県・支部の自主目標達成のために全会員が「一人5筆・10筆」など、運動の輪を大きく広げましょう。

2、会員拡大の自主目標達成に全力を尽くすことを訴えます。

6月7日には、全国大会に次ぐ重要な全都道府県代表が参加する、中央理事会が開かれます。第40回大会決定「一日も早く2万人の同盟を建設する」目標の実現めざし、各県・支部が自主目標達成のために大いに力を尽くすことを呼びかけます。会員の「5人拡大は『不屈』紙上に氏名公表、10人拡大は『不屈』紙上に氏名公表と記念品を贈呈」の顕彰活動にたくさんの皆さんがチャレンジすることを呼びかけます。

会員のみなさん

情勢は、「戦争か平和かをめぐって」緊迫しております。今こそ、治安維持法下の弾圧に屈せず、戦争反対、社会変革のために奮闘した先人たちの「闘いと抵抗の歴史」に誇りと確信をもって、大軍拡、憲法改悪を阻止し、平和と人権輝く世界と日本をつくるために頑張ろうではありませんか。

（1ページからつづく）
発言し侵略戦争を肯定・賛美し「日本国民と領土主権を守った人々」たことにもふれ、「侵略戦争に命がけで反対し、平和を求めた人々がいた。弾圧され犠牲になったけれどもに国家として謝罪し賠償すべきです」とのべました。田中事務局長は、ウクライナ戦争を口実に

した「安保3文書」改訂、「敵基地攻撃能力」保有、自衛隊の強化、軍事費を5年以内に議GNP比2%43兆円以上にする悪企みにふれ「これを許せば、国民には大増税、社会保障費・教育費の削減が待ち受けている」と警告、「再び戦争と暗黒政治の復活を許さないたたかいを国民と力を合わ

せて頑張ろう」と強調。ついで、今年が多喜二没後90周年の節目の年であり、40回大会で「2万人の国賠同盟を一日も早く実現する」と決定したが、大会現勢1万6600人から微増であることや、映画「伊藤千代子の生涯」上映運動の第2次で7万8500人が鑑賞

（3ページにつづく）



定年退職以来お世話になってる年金者組合の川原基尚（もとなか）・芳子ご夫妻が『僕の戦争／三宿小学校の学童疎開』を文芸社から出した▼基尚少年は5年生の時に美ヶ原温泉のある松本市の山辺村に疎開した。夜になると「さびしい」「お腹がすいて眠れない」……とすすり泣きが聞こえる。毎日のほとんどが、キノコ・イナゴ・赤蛙・マムシなどの食料獲得の行動となった▼少年が「新しい環境を自分に居心地の良い場所に変えていく」武勇談が痛快だ。20枚を超えるイラストもすごく楽しい▼私の教員時代の校長が松本出身だったのでこの本を見せた。実家が山辺村で基尚さんと同学年だった。村の子どもの生活風景はまさにその通りだったという▼爆弾が落ちた話も記憶していた。畑の地下を掘って三菱が工場をつくっていた。芳子さんがこの本を教育委員会に届けたところ、世田谷区立の全61の小学校に「平和教育教材」として配置されることになった。（内）

(2ページからつづく)

した実績など、全国大会後の同盟運動の到達点と活動方針を提起しました。①憲法16条に認められた

国民の権利である国会請願署名は(3月1日現在) 5万4660筆

15・6%)で急ぐ、協力していた

だく団体署名を重視、②会員拡大

は(3月1日現在) 1万6691

人(大会比プラス27人)、③大会

に次ぐ決定機関・中央理事会(6

月7日)成功めざし「署名・会員

拡大の自主目標達成特別期間」を

設定し取り組む、50回目の国会請

願(5月16日)中央理事会(6月

7日)成功に向け、2万人会員の

早期実現をめざして県本部は討議

「計画書」作成。会員拡大の顕彰

活動、④運動を総合的に発展させ

る基本Ⅱ支部建設をすすめる、⑤

約2年9カ月、未採択の地方議

会での意見書採択の推進、⑥新た

な「学習テキスト」(5000部)

を5月末完成予定、⑦全県・支部

に女性部をつくる。10月29・30日、

愛知県蒲郡市で第32回全国女性交

流集会を開催。その他、世代交

代・次世代対策、国際活動、『治

安維持法と現代』の会員の20%、3300部の固定購読をめざす、などを提起しました。

中央常任理事会での発言

20人が発言し、岩下美佐子国際

部長が国連人権理事会、日中韓三

国教科書フォーラムなど、この間

の国際活動について特別発言。主

な発言と発言者は次のとおりです。

◎400人の会員実現めざす

大野辰男(埼玉)

50回目の国会請願に向けて1万

人突破の署名を目指したい。その

ために県内の42団体に要請し、協

力の懇談をしている。会員拡大で

は16カ月連続して前進している。

まだ全国的には遅れているので、

遅れを取り戻して会員を400人

にし、全県に広げた同盟活動をつ

くりあげたい。

◎40周年記念集会を大きな節目に

勝部志郎(兵庫)

5月の県本部40周年記念集会の

成功に向けて3月から5月を特別

期間と設定して課題に取り組んで

いる。請願署名を広げながら、全

支部から国会請願に代表を送るよ

うに強めている。中央支部は団体

訪問をして訴えている。

支部の体制を確立していきたい。

体制を新しくした明石支部は、他

団体の人にも積極的に入会を働き

けている。1、2月は二ヶタ拡大

したが、3月も前進させ、5月の

記念集会には1200人に到達し

たい。

◎2万人実現の支部の課題

早崎末治(静岡)

組織は生き物。新陳代謝を繰り返

返さないと、組織は停滞する。県

本部の事務局長をやるからには腹

を据える必要がある。自ら先

頭に立つ決意をした。

支部委員会を確立し、毎月理事

会を開いて拡大の対象者を決めて

働きかけ、446人までになった。

毎月の月報では働きかけた人数も

集約したらどうか。

◎村山純(沖縄)

沖縄でのたたかいについて

◎大石 喜美恵(大阪)

沖縄で見たこと聞いたこと

◎若山晴史(愛知)

情勢をとらえ、どうたたかうか

◎高原久美(徳島)

「笹の墓標展示」の取り組みに

ついて

◎小日向昭一(新潟)

国賠同盟の出番の情勢を生かそう

◎小松 敦(千葉)

県同盟の諸課題成功に向けて

◎澤田勝雄(『治安維持法と現代』

編集長)

『治安維持法と現代』23年春季

号の内容について

◎甲斐富貴雄(大阪)

各支部が2人以上の会員拡大で

2000人突破を

◎西田 清(滋賀)

すべての会員に依拠した請願署

名活動へ

◎本間昭一(北海道)

北海道での請願署名の取り組み

◎竹村利幸(長野)

2万筆の請願署名実現にむけて

◎風間秀子(東京)

女性部の活動を強化しよう

◎中村茂樹(東京)

支部の請願署名の経験について

◎岩田治樹(埼玉)

他団体への請願署名の要請を積

(4ページにつづく)

(3ページからつづく)

極的に

◎中嶋育雄(東京)

署名目標達成には東京が先頭に

◎藤田廣登(顧問)

映画「伊藤千代子の生涯」第3
次上映運動など

会員拡大、署名推進すむ

長野

これまでやったことのない
大きな署名数に2442筆の各種団体が協力
—長水北支部は、取り組みが遅く
なりましたが、今年に入ってから
請願署名に取り組みました。256の労働組合長野県本部や
長水支部をはじめ各民主団体等を
中心に電話連絡してから訪問しま
した。団体によっては「上部団体が取
り組むようになれば降りて来るの
で、支部としては取り組みません」
という所もありました。また「私としては取り組んでも
良いと思うが、役員が『1度やる
と毎年やるようになる』『署名の種類が多くてこれ以上増やさない
で欲しい』意見が多く、今回は申
し訳ないが出来ない」団体もあり
ました。結果的には1団体が取り組んで
頂ける事になりました。以上の結果、3月1日現在で2
442筆の個人署名と38の団体署
名を寄せて頂いています。経過を書けばこれだけの事など
ですが、25の労働組合や民主団体
と言えば長野市内の思いつく全て
の団体です。会員が個人的に集め
た署名の数は既に加えてあるので、
単純に2442筆がプラスにはな
りませんが、長水北支部としては
これまでやった事の無い大きな取
り組みとなりました。しかし、支部の取り組みとはな
らずほとんど綱島個人の取り組み
となった弱点は、支部の役員会議
を開催せず支部長の個人プレーに
なっているところにあります。来年度は全ての役員が参加する
取り組みにしたい、と思っていま
す。

(長水北支部 支部長・綱島信一)

千葉 国賠署名の取り組み

千葉では年4回、「不屈」に署
名用紙を折込んで協力を求めてき
ましたが、返ってくるのは月平均
100筆程度です。映画「わが青
春つきるとも」の上映会では約4
000人の方が視聴し『同盟』も
注目を得つつあるので、各種の集
会や演説会などの会場で署名を
集めようと理事会でも決定。女性
部は母親大会で、千葉市支部では
演説会等の会場で100筆、2
00筆と集めてきました(主催者
の了解を得て)。しかし、目標の
6000筆に対して1月末の到達
が2003筆。ところが2月に入
り新日本婦人の会千葉県本部から
2095筆の署名が寄せられまし
た。取り組みを伺いますと、秋の
署名運動は10種類程度の署名用紙
を袋に入れ、支部や班の会議の場
で直接書いてもらうので、確実に
署名が集まります。今後は、他の
民主団体や労組などでも同様の方
法で署名をお願いできないか要請
し懇談していきたいと考えていま
す。(県本部事務局長・小松敦)

第94回山宣墓前祭

3月5日第94回山宣墓前祭が宇
治市善法墓地で行われ、250人
もの参加者が集まりました。山宣
の墓はたくさん旗や幟で囲まれ、
国賠同盟の黄色い幟が最前列の左
右に配せられました。山本宣治は突き進む戦争への道
と治安維持法改悪に対して妥協す
ることなく闘い、94年前のこの日、
権力に唆走された右翼の凶刃によつ
て命を絶たれました。墓前祭では共産党、新社会党、
同盟京都本部をはじめ、国民救援
会、民医連など山宣にゆかりの団
体からのあいさつが続きました。ウクライナ戦争と東アジアの脅
威を口実に戦争準備をすすめる岸

田政権

に對峙

して、

平和を

守る陣

地を強

く高く

と誓い

合いま



顕彰碑

探訪

田中正造「利島・川辺合同村民大会」120周年記念碑

田中正造が衆議院議員を辞して、明治天皇に死刑覚悟で足尾銅山による鉱毒被害を止めるため、銅山の操業停止を直訴(幸徳秋水協力)した翌年の1902年、鉱毒の沈殿池として水没予定地であった利島村と川辺村の村民大会が利根川の左岸(現・埼玉県加須市栄の火打沼地先)で実施された。

この大会には住民1千人以上(当時の村民6千人)が参加し、堤防修理と沈殿池化反対を求め「国に対し、納税、兵役の二大義務を負わず」と決議し、計画を撤退させることに成功した。

この勝利を記念して昨年10月、同地に「田中正造翁北川辺顕彰会」の手で



「利根・川辺合同村民大会」120周年記念碑」が設置

された。当時は、日露戦争1904年に備えて、国は富国強兵策で、銅の生産は最優先されていた。また徴兵拒否は国家に対する最大の犯罪とされ、国賊として極刑に処せられていただけに、「死なば死ね殺さば殺せ」(山岸一平・著)の心境で立ち上がったのだと思う。

日本初の公害闘争を指導したのが田中正造。彼は徹底した平和主義者で日露戦争の頃ある集会で「日本は軍備全廃を主唱する責任、いや権利がある」「日本は丸裸になれ」と演説。日本国憲法9条に繋がる思想の持ち主でもあった。今また「軍国主義化」が進行する中、正造の遺志を継ぐ時ではないだろうか。

記念碑設置場所

「埼玉大橋」500Mほど進んだ右側にある。(埼玉憲法会議事務局次長 渡辺政成)

大津支部幹事・菅沼満佐子

3月15日は山口県光市鮎返で、市川正一さんの碑前祭が行われ50人近くが参加しました。

市川正一さんは、治安維持法によつて弾圧をうけ、1945年3月15日、肺湿潤、腸カタルなどを患つて宮城刑務所で亡くなりました。中村鈴枝同盟県本部副会長が挨拶を行いました。中村さんは、「治安維持法によつて数十万人が逮捕され、送検された人は7万5千人、拷問によつて虐殺された犠牲者は2000人に上ります。市川さんがその一人です。」



下関豊田町の田中サガヨさんが、亡くなったあともこうして、戦争反対、男女平等とみんな語り合えるのは、碑があるからです。しかし、田中サガヨさんの足跡は詳しく分からないままで、死んでもからも男女平等ではないのかと思います。県本部の悲願でもあります。田中サガヨを顕彰しようとしています。など訴え、国賠同盟への加入を促しました。

(滋賀県本部『不屈』2月15日号)

「長谷川テル訪問記念の碑」除幕式に参加を

長谷川テルに想いを寄せていただいている多くの方の協力と般若寺さんのご好意で、いよいよ碑が完成し、除幕式を挙げることにしました。

第一部の除幕式を般若寺境内で挙行、第二部「長谷川テル顕彰事業全国交流集会」を行います。集会終了後、懇親会を行います。

第一部 除幕式

4月30日(日) 午後1時

〜2時 般若寺境内で。

第二部 「長谷川テル顕彰事業全国交流集会」

午後3時半〜5時 ホテル

リガール春日野

第一部終了後、懇親会を行います。

会費5000円

※「第二部」参加及び懇親会参加希望者は事前に県本部事務局に連絡下さい。

☎0742・43・0762

(注) 般若寺境内での除幕式に出席される方には「拝観料」(500円)をお願いいたします。

(奈良県本部『不屈』3月15日号)

抵抗の群像

弾圧に屈せずたたかった

西村ヒロさん

戦前の日本共産党京都市委員会の最後の指導部で赤旗配布責任者だった西村清三さんから、1990年ごろ白内障の眼内レンズの手術を受けるため、私は病院の送迎をたのまれた。

京都市伏見区の選挙管理委員長をしていた西村さんは、私が選挙の開票立会人にもなるので頼みやすかったようだ。

西村さんは寝たきりの奥さんのヒロさんを「老々介護」していた。白内障の手術後、モノがよく見えるようになって我が家の「ゴミ屋敷」化に愕然としたとか。

奥さんの在宅介護の限界を感じ、特別養護老人ホームの世話になることを決めた。清三さんが、奥さんより先に亡くなってしまった。

ある時、党員名簿整理を私が担当し、名簿の中に、ヒロさんの名があった。施設に入所しているこ

とを知っていたので、選挙前にたずねた。

「今度は、誰にいれるのや？ 蛭川さんか、寺前いわおさんか」と開口一番にヒロさんは聞いた。

私の顔をおぼえていたのだ。年相応の記憶力だったが、「活動意欲あり」として党費免除扱いにするよう地区機関にお願いした

「解放の礎」に違和感

2002年の解放戦士の墓の「京都いしずえ会」合葬名簿では次のようになっていた。

西村ヒロ(1904・11〜2001・5・7)、享年96歳。45年入党、50年党員。夫・清三の活動を支える一。

しかし、それだけかと違和感を覚えた。ヒロさんの歴史が、夫の活動を支えただけなのかと。

「治安維持法というのは、えぐいんやで。おなごの恥ずかしいと

ころにホウキの柄を突っ込んで掻き回すんや」と私に体験を語ったことがあったのだ。

清三さんも「京都の民主運動史を語る会」の会報に、京都一般俸給者組合高島屋分会の活動家として32年の「9・3事件」で検挙され、五条署での拷問を書いた。翌年は「京大滝川事件」と同時期に、共産党京都市委員会は6月15日に再建されたわずか5日後の33年「6・20事件」で壊滅した。当時の委員長は坂斉小一郎、西村清三は赤旗配布責任者だった。

青年部を職工組合内の「革命的反対派」に再編せよ！

30年代の社会運動の状況は、谷口善太郎の小説「清水焼風景」に活写されている。「谷善と同時期に戦った老陶磁器職人は『自分たちのことが描かれている』とてれ臭そうに思い出をかたつたほどのモデルが特定できるプロレタリア文学だ。また、大山郁夫の「新労農党結成の解消」を求める「合法的無産政党否定論」の立場が鮮明な歴史的制約もある小説だ。清水焼の約700人の組合の構成は、

産地の塊に応じて五条部、今熊野蛇が谷部、泉涌寺部とわかれていたが、今熊野蛇が谷部の全協の活動家として成長していく主人公・九州男児の村上信吉ら約20人たらずの活動家群像を描いている。

全協化学労組東山地区委員会京都陶器職工組合青年部。青年部地区委員長の山沢が裏の中心となり、ストライキ実行委員会のフラク委員長杉本を表に出した体制だった。清水焼の窯元の娘だったヒロさん「ヒロさんの旧姓はなんとおっしゃるのですか」と、私は近所に住んでいるヒロさんの妹の娘さんにたずねた。「おばさんは清水焼の窯元の娘で山澤ヒロ、賢くて背の高い人でした」

「特高月報」では、昭和8年9月、猶予処分。党目遂。全協化学京都地区委文書部員とあった。検挙当時、ヒロさんは29歳だった。

西村清三さん(24歳)と一緒に全協化学フラク責任者吉田常雄さん(21歳)が、6・20事件で検挙され、つづけてヒロさんも9月8日に検挙されたことになる。

(京都府本部副会長 佐藤和夫)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

夫逝きて夢のごと七年すぎる今日われは施設へ体験入所す
大阪府 丸尾ことよ
枝伸ばし大地に根を張り生ききった大木倒れど薬伸
沖縄県 塩田 伸子
びる
耳元で騒ぐ北風切り裂いて「赤旗」配達のペダル漕
崎玉県 細谷 宜朗
ぎゆく
いつの間にラッパ水仙ぱつと咲く東日本大震災十二年目の日に
静岡県 江川 佐一
大軍拡NO!増税NO!の署名をは断わる人なしホームのスタッフら
大分県 渡辺 幹生
宮古島の宣撫工作許さじと今を闘う「ていだぬふあ」
島根県 小玉 信恵
の会(ママの会)
刻々と報じられくる戦前への動き急圧倒的署名で友
よ包囲せん
岐阜県 田中 良
派遣ふえ少子化の波進行す政策破綻は明らかなりき
長野県 生路 聡
タガ外れ政権やること出鱈目なり安保・原発国を亡
ぼす
埼玉県 福家 駿吉
廃棄物行くあてもなし原発にあやうき核熱ブルサ
マルよ
福井県 元山章一郎
(選のあとに)丸尾作品は、夫の死後七年、あたらしい生活への出発、しみじみとして表現している。
塩田作品は、倒れた大木を題材としながら、背後に沖縄でのねばり強い基地反対闘争をうかがわせる。
細谷作品は「赤旗」配達での緊張した自画像。江川作品、忘れることの出来ない東日本大震災、水仙も共に。

俳句

望月たけし選

飛花落花「新たな戦前」許さない

三重県 橋本しげる

凍てよ五文字「敵基地攻撃」声にする

東京都 岡崎たかね

春来る黄色署名の出番なり

埼玉県 大野 辰男

合掌し反戦誓う多喜二の忌

埼玉県 小池 莊八

兜太の忌目裏にある面構え

神奈川県 天野三葉子

「評 橋本句の「新たな戦前」は、岸田政権の戦争への大軍拡を許さない意志。岡崎句の「敵基地攻撃」は全面戦争必至。こんな怖ろしい文字はなくなれと「凍てよ五文字」という表現になったのだと思われる。」

川柳

鈴木いさお選

平和維持ミサイルよりも話し合い

東京都 中村 茂樹

「評 正にその通り。もうこれ以上尊い命を無駄にすることは止めて欲しい。着想は平凡だが、説得力ある一句。」

下々の財布は今も氷点下

東京都 稲邑 明也

トルコ地震明日は我が身と震えくる

大阪府 大和 峯二

黒塗りと破壊得意なお国柄

北海道 三隅 雅彦

憲法遵守は国民の義務当り前

大阪府 堺谷九条男

顕彰碑建立募金にご協力を

原菊枝顕彰碑

原菊枝(1905〜1946)

は、新潟県中蒲原郡川東村(現、五泉市)で生まれる。木崎村争議に参加。28年1月共産党入党。一三・一五事件で検挙。市ヶ谷刑務所で二年余の獄中生活。肋膜炎で重篤になり、仮釈放され、『女子党员獄中記』を記す。

・建立場所 新潟市東区ハナミズキ2-13-7 アシヌマ荘庭・募金目標150万円・除幕式5月27日・建立事務局(野崎洪)

☎090-1340414201

飯島喜美顕彰碑

飯島喜美(1911〜1934)

は、千葉県太田村(現、旭市)に生まれる。東京モスリン紡績に就職、賃上げ争議では副責任者を務め、勝利に貢献しました。

1930年、モスクワにわたり、赤色労働組合インターナショナル大会に日本女性として初めて参加し演説。共産党中央婦人部員、33年検挙・市ヶ谷刑務所投獄、獄死。

・建立場所 日本共産党千葉県北部地区委員会敷地内・募金目標300万円。完成予定2025年12月18日・事務局・同盟千葉県本部

☎090-1790910849 (小松敦)

映画「わが青春つきるとも」 上映運動コーナー

◆桂監督と運動組織が日本 映画復興賞受賞

民主的映画の伝統を引き継ぐ日本映画復興会議は、昨年度の「日本映画復興賞」を桂三郎監督と、国賠同盟主導の「畑田重夫記念・映画製作を支援する全国の会」に授与することとし、授賞式は5月27日午後、新宿で行われます。式後に「映画運動全国交流会」を行います。参加歓迎。



◆チラシ・ポスター新デザイン 使用開始(写真)

5月開始の第3次上映運動用チラシ(A4)、ポスター(A3)デザイン確定。提供を開始。現物と加工用データの双方の要望に応じます。

☎ 090・4527・1129

◆原作者藤田廣登と 往く、千代子墓参会

ロケ地探訪&安曇野(ちひろと特攻学徒上原良治)の旅。
5月9・11日。主催・たびせん(問い合わせ) ☎ (03・5577・6300)。中央線上諏訪駅集合・松本駅解散方式。2泊ツアー全費用7万3千円。

100歳の菱谷良一さん

国会請願派遣募金にご協力を

菱谷良一さんは、参加の強い決意です。そのためには、介護要員の手配など、費用が必要で、募金にご協力ください。郵便振替用紙に「菱谷さん応援」を明記して下さい。
口座記号番号001106

97793 加入者 治安維

持法国賠同盟中央本部



紀寿(100歳)の作品

【訃報】

宗形孝至さん死去

中央常任理事の宗形孝至さん(78) 神奈川県本部会長は、昨年12月8日、お亡くなりになりました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

【訂正】

・本紙3月号4ページ3段目の5行目五十嵐直さんを五十嵐匠さんに訂正。同4ページ4段目1行目川端彰さんを川満彰さんに訂正。同6ページ「抵抗の群像」上段1行目の1906(明治33)年を1900(明治33)年に訂正。享年36を42に訂正。
・本紙2月号7ページ「短歌」の和田昌兵さんを和田昌三さんに訂正します。

事務局日誌

3月9日 編集会議
3月13日 3・18解放運動無名戦士合葬祭
3月16日 会長・事務局会議
3月23日 三役会議、女性部会
3月24日 中央常任理事会

2023年春季号(45号)

『治安維持法と現代』

5月1日発売

治安維持法犠牲者に国家賠償法の制定を求める請願の22年度紹介議員一覧—【巻頭論文】「安保3文書」に意図する軍拡「戦争する国」づくり—岸田政権の危うさ=清水雅彦、憲法を踏みにじって戦争準備にひた走る岸田政権を許すな=小林節、鈴木安蔵の精神—憲法9条を守る意義=金子勝、安保3文書と軍拡の危険性=川田忠明、日本近現代史における軍拡：増税と今=大日方純夫、安保3文書に立ち向かい、平和への展望をひらく学びをどうつくるか=石山久夫、五十嵐久彌と治安維持法—文学者の側面=高橋三枝子【文化】考古学者・戸沢充則の仕事=勅使河原彰、多喜二文学の拡がり=荻野富士夫本宣治の顕彰について=薮田秀雄、生物学者山宣は戦争にいかに向き合ったか=永島民男、伊藤千代子と浅野晃—その「転向」「非転向」を歴史的文脈で考える=高田直樹

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。